

# 平成22年度宮内梅まつり

5月16日(日)坂本梅林・宮内集会所(上揚)



## ちぎりとって宮内の梅をどいぞ

5月16日(日)上揚の坂本梅林および宮内集会所で、平成22年度宮内梅まつりが開催されました。

宮内地区活性化委員会(鍛田桂一朗会長)などが主催。宮内地区子ども会の児童や保護者、宮内地区社会福祉協議会「やまびこ会」、地域住民などに加えて、甲佐小学校(吉見和洋校長207人)の児童や教諭、熊本市から訪



れたポーンスカウト、ボランティアの大学生なども参加し、総勢約60人で実施しました。

梅まつりは、上場の緑川右岸に梅の木が立ち並ぶ「坂本梅林」で実った梅を収穫し、集会所で選別して即日販売します。

まず初めに、参加者たちは梅林に集まり、一斉に梅ちぎりを開始。子どもたちは、保護者や地元住民たちに、梅が実っている枝を手の届く高さに下げてもらったり木に登ったりして収穫。お互いに抱きかかえ合ったり肩ぐるまをしたりして手を伸ばし、次々と梅をちぎりました。

ちぎった梅は、コンテナに集めて集会所に運んで選別。参加者たちは葉や枝などを選別機でふるいにかけて後、1か所に集められた梅の山を中心に大きな輪になって、1個1個手に取り丁寧に選別して袋に詰めました。

選別作業の途中の時点で、毎年訪れる常連客や購入予約をしていた人たちが選別会場に続々と来場。袋に詰められたばかりのちぎりとての梅を見定めて購入しました。

今年は何年に比べてやや少なく、約400kgを収穫。特に、小梅が少ない状況でした。販売では、梅のほかに、地元で取れた野菜や花なども併せて並びました。

会場で梅を購入した60歳代の女性は、「初めてまつりに来ました。きれいな梅が買えてうれしいです」と梅の詰められた袋を抱えて話しました。